

結果公表用

平成27年度
自己評価報告書の概要

平成28年3月31日

大川学園医療福祉専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1
基準 1 教育理念・目的・育成人材像	2
基準 2 学校運営.....	3
基準 3 教育活動.....	4
基準 4 学修成果.....	5
基準 5 学生支援.....	6
基準 6 教育環境.....	7
基準 7 学生の募集と受入れ	8
基準 8 財務	9
基準 9 法令等の遵守.....	10
基準 10 社会貢献・地域貢献.....	11

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成 27 年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>学生が国家資格取得を目指す中で、校訓や理念のもと、幅広い知識・技能とともに、社会人としての自覚、礼節、思い遣り、奉仕精神を身に付け人間的に成長できる人材の育成を目指す。また、国家資格取得後も医療・介護の現場において即戦力となって活躍できる人材の育成に力を注ぎ、校訓「自立・協調・奉仕」のもと、実践的技術のみならず、人としての原点に立ち返り、学園での学びを通して患者様や利用者様の心に寄り添うことのできる医療人や福祉人を育成する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職員、学生の健康・安全への意識向上。 2. 環境整備、学生満足度向上。 3. 柔道整復師、鍼灸師国家試験現役合格率 100%。 4. 学生募集定員の確保。 5. 職業実践専門課程認定準備。 6. 介護職員実務者研修開講準備。 7. 教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の開催。 8. 地域社会貢献活動への参加。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康・安全指導、安全点検等を実施。 2. 校内全面禁煙化を実施。 3. 国家試験対策講座、補習、個別指導を実施。 柔整100%鍼灸67%(自己採点結果による) 4. 介護37名柔整26名鍼灸15名 計78名 5. 来年度、介護福祉学科の申請準備。 6. 申請済み。実施に向けた研修会へ参加。 7. 7月に教育課程編成委員会、3月に学校関係者評価委員会を開催。 8. 地域イベントのボランティアへ学生教職員参加。 	<p>鍼灸学科募集停止により、今後は柔道整復学科と介護福祉学科の2学科募集となり、介護福祉学科の国家試験免除が無くなることも踏まえつつ、入学者定員確保と退学者ゼロ、国家試験合格率100%達成に向けた取り組み強化が今後の課題である。</p> <p>また、職業実践専門課程認定に向けた取り組みも課題として挙げられる。更には、学校経営上経費の節減に向け、中期長期的観点から、適正人員による経営の効率化を図り人件費の節減に向けた取り組みも急務である。</p>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>校訓「自律・協調・奉仕」の下、教育理念に則り教育活動が展開された。各学科の専門的技術・知識に長けた教員による指導で、資格取得後も現場において即戦力となって活躍できる人材の育成に力を注いできた。また、実践的技術のみならず、人としての原点に立ち返り、学園での学びを通し患者様や利用者様の心に寄り添うことのできる 医療人・福祉人の教育を行い、市や警察との連携協定を結び地域に根付いた安心して学べる学校として学生が国家資格を取得する上でもよりよい環境を作り出すよう教職員が一丸となって取り組んできた。また、学生への補習や国家試験対策、卒業・就職サポート等の体制も充実させた。</p>	<p>【1-1】理念・目的・育成人材像</p> <ol style="list-style-type: none">1 理念・目的・育成人材像は定められているか 評価 32 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか 評価 33 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか 評価 34 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか 評価 3

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育理念の具現化のため、学校の目的・目標を明確に打ち出し、その実現に向けての運営方針、事業計画が策定されている。運営組織や意思決定も、学校の目的・目標達成のために、規程に基づきより効率的なものとなっている。また、人事体系、賃金体系等に関しても制度化が図られており、適切な運営がなされていると判断される。今後は、人事考課による処遇制度導入の検討を行い、職員の業務遂行に当たっての意識向上を図ることが課題と考える。</p> <p>また、入学定員の確保、教育内容の充実、キャリア教育の推進により所謂「入口と出口」の強化を図り、より多くの地域医療・介護に貢献できる人材輩出に努める。</p>	<p>【2-2】 運営方針 1 理念等に沿った運営方針を定めているか 評価 3</p> <p>【2-3】 事業計画 1 理念等を達成するための事業計画を定めているか 評価 3</p> <p>【2-4】 運営組織 1 設置法人の組織運営を適切に行っているか 評価 4 2 学校運営のための組織を整備しているか 評価 4</p> <p>【2-5】 人事・給与制度 1 人事・給与に関する制度を整備しているか 評価 3</p> <p>【2-6】 意思決定システム 1 意思決定システムを整備しているか 評価 3</p> <p>【2-7】 情報システム 1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか 評価 4</p>

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は柔道整復師・鍼灸師・介護福祉士を養成する専門学校であることから、その専門職に必要な技術・技能・知識の習得を教育活動の大きな目標とし、同時に社会に貢献できる人材養成を重要視している。この教育目標達成のために、現場経験豊かな教員を揃え、業界を牽引する先生方や現場で活躍されている先生方を講師として招聘し、業界の人材ニーズを常に把握するよう努めている。修業年限に対応した教育達成レベルは明確にされ、そのカリキュラムは体系的に適正に編成されている。学生による授業評価は昨年度より実施されており、その結果は各担当教員に知らされている。</p> <p>法令遵守に努め各学科とも育成目標に向けて授業を行える教員を確保し、教員には専門性や資質向上のための研修会等への参加を促している。しかし、授業等のため長期の研修は難しく、夏休み期間中も体験入学やセミナーがあり難しいのが現状である。成績評価・単位認定、資格取得については明確に定められており、実施されている。</p>	<p>【3-8】目標の設定</p> <p>1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 評価 3</p> <p>2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか 評価 3</p> <p>【3-9】教育方法・評価等</p> <p>1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 評価 4</p> <p>2 教育課程について外部の意見を反映しているか 評価 3</p> <p>3 キャリア教育を実施しているか 評価 3</p> <p>4 授業評価を実施しているか 評価 4</p> <p>【3-10】成績評価・単位認定等</p> <p>1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 評価 3</p> <p>2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか 評価 3</p> <p>【3-11】資格・免許の取得の指導体制</p> <p>1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 評価 4</p> <p>2 資格・免許取得の指導体制はあるか 評価 3</p> <p>【3-12】教員・教員組織</p> <p>1 資格・要件を備えた教員を確保しているか 評価 3</p> <p>2 教員の資質向上への取組を行っているか 評価 3</p> <p>3 教員の組織体制を整備しているか 評価 4</p>

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本学園が掲げる『自立・協調・奉仕』の伝統ある校訓の下、実践的技術のみならず、人としての原点に立ち返り、学園での学びを通して患者様や利用者様の心に寄り添うことのできる医療人・福祉人の教育を行い、学生がベストな環境で国家資格が取得できることが目標であり、目的でもある。その人材が活躍できる職場に就職させることが重要である。そのためには、学生自身が就職活動に必要な情報をいち早く知る事ができ、また対応できるよう指導し、就職希望者全員が就職できることを目標に教員・就職担当者が一致団結して動いている。卒業した後、学生が幅広く活躍できることを目的として、将来に必ず必要とされる資格を取得するのがいかに大切かを理解させて授業を展開している。学生が目的達成のために努力できるようにするには、教職員がいかに学生指導するかが重要であると考え。それらを実行することにより学生が学校で学ぶことが活力となり、退学者の減少に繋がると考える。学校での教育、生活指導などの充実を証明するには、在校時の学ぶ姿勢も重要であるが、最も重要なことは、卒業生が職場で活躍し各業界で評価され、認められることである。そのためには学校での修学期間の充実が非常に重要であり、教職員一丸となって支援している。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【4-13】 就職率 1 就職率の向上が図られているか 評価 3</p> <p>【4-14】 資格・免許の取得率 1 資格・免許取得率の向上が図られているか 評価 4</p> <p>【4-15】 卒業生の社会的評価 1 卒業生の社会的評価を把握しているか 評価 2</p> </div>

基準 5 学生支援

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門学校は高等専修学校と同キャンパス内にあるため、施設設備は充実している。</p> <p>学校が社会に評価されるのは、教育面及び指導面に優れているだけではなく、学生一人一人が抱えている問題に対応できる体制が重要である。そして、学生の将来を決める就職は特に重要である。就職ガイダンスや個人面接などによる対応により、学生がスムーズに就職活動出来るよう配慮している。</p> <p>最近の傾向として経済的に困難な状態の学生も多く、そのためにも経済的な理由で通学できないという環境をつくらないことを目的として奨学金制度充実も徐々に整えている。将来を担う学生にとって学習できる環境は、学校の支援体制を充実させることがとても重要である。</p> <p>学生が無事に卒業し、就職するまでの環境も大切なことであり、保護者の協力は特に必要とされる。保護者と連携することは、教職員として心掛ける一つである。医療人・福祉人を養成する学校では、卒業生を送り出すことだけが目標ではなく、卒業後、社会に於いて、活躍し、業界に貢献し発展させる担い手になることが、結果的に当校の教育の評価にも繋がり、使命でもあるので、支援体制を整えることは重要である。</p>	<p>【5-16】 就職等進路</p> <p>1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか 評定 3</p> <p>【5-17】 中途退学への対応</p> <p>1 退学率の低減が図られているか 評定 3</p> <p>【5-18】 学生相談</p> <p>1 学生相談に関する体制を整備しているか 評定 3</p> <p>2 留学生に対する相談体制を整備しているか 評価なし</p> <p>【5-19】 学生生活</p> <p>1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 評価 4</p> <p>2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか 評定 4</p> <p>3 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか 評定 1</p> <p>4 課外活動に対する支援体制を整備しているか 評定 4</p> <p>【5-20】 保護者との連携</p> <p>1 保護者との連携体制を構築しているか 評定 2</p> <p>【5-21】 卒業生・社会人</p> <p>1 卒業生への支援体制を整備しているか 評定 3</p> <p>2 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 評定 1</p> <p>3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか 評定 3</p>

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備は学生の学校生活に支障がないように整備され、かつメンテナンスの体制も生まれ、学生、教職員の施設設備面での安全確保はなされている。</p> <p>将来に向けての課題は資金を含むキャンパス整備の実施である。</p> <p>学外学習では、介護福祉学科が校外実習を実施しているが、今後は柔道整復学科及び鍼灸学科のインターンシップの有り方について、検討する必要がある。</p> <p>防災・安全管理については防災・防火訓練などにより意識の高揚を図るように取り組むと共に、生徒が授業の関連で事故等にあった場合の保険対応はできている、今後は自然災害などへの対応の充実が検討課題である。</p>	<p>【6-22】施設・設備等 1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか 評定 4</p> <p>【6-23】学外実習・インターンシップ等 1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか 評定 3</p> <p>【6-24】防災・安全管理 1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 評定 2 2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか 評定 3</p>

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>生徒募集については埼玉県、東京都を中心として進路指導の先生からの信頼を築くため、受験生・保護者のニーズに答えられるよう全学挙げての取り組みを行っている。現在、定員確保には至っていない。この原因は、知名度及びストレート卒業率の向上、国の制度への対応が必要と感じている。また、学校案内は最近の高校生に分かり易く、理解度を高めることができるようなビジュアル面を重視した紙面づくりに努力している。</p> <p>体験入学会は年間 18 回、学校説明会は約 40 回実施し、目標とする参加者数をほぼ達成できている。今後も継続し定員の確保に向けて努力をおこなう。</p> <p>介護福祉士の国家取得方法変更に関して、国会にて議論されており、その変更次第で、募集に影響がある。</p>	<p>【7-25】学生募集活動</p> <p>1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか 評定 2 2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか 評定 3</p> <p>【7-26】入学選考</p> <p>1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 評定 4 2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか 評定 3</p> <p>【7-27】学納金</p> <p>1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 評定 3 2 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか 評定 4</p>

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>財務基盤として、5年程度の財政状況の把握には努めており、財政状況は健全であると判断している。しかし、設置学校中でも専門学校は、人件費比率・経費比率など経営の課題は山積しており決して盤石とは言い難い。</p> <p>予算については、規程に定められおり、年度予算状況についてはまず予算編成方針を決定し、それに基づき予算計画が策定されている。また、中期計画による予算は、基本金の取崩など計画に沿った適正な予算配分により策定されていると判断している。</p> <p>また、予算の執行は、システムで管理し妥当に執行されている。</p>	<p>【8-28】財務基盤</p> <p>1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 評定 2</p> <p>2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか 評定 2</p> <p>【8-29】予算・収支計画</p> <p>1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 評定 3</p> <p>2 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか 評定 4</p> <p>【8-30】監査</p> <p>1 私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか 評定 4</p> <p>【8-31】財務情報の公開</p> <p>1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか 評定 4</p>

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学園の教育理念「自立・協調・奉仕」の精神に則り法令等を遵守し、学園の運営を行うことを目標としている。今後は、教職員・学生に対する法令遵守のためのルール作成、啓発活動が必要である。</p> <p>個人情報保護については、学校法人としての社会的責任を全うするため、個人情報の保護に関する法律および関係する法令を遵守し、適正に取り扱うよう努めている。引き続き、教職員はもとより学生の意識向上を図っていきたい。</p> <p>学校評価については、今年度、初めて学校評価規程を整備し、自己点検・自己評価の体制を確立した。今後、学校関係者評価を経て、来年度以降PDCAサイクルによる改革・改善を図っていく。</p> <p>教育情報の公開については、学校の概要、トピックス等は積極的に情報発信している。</p>	<p>【9-32】 関係法令、設置基準等の遵守</p> <p>1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか 評定 3</p> <p>【9-33】 個人情報保護</p> <p>1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか 評定 4</p> <p>【9-34】 学校評価</p> <p>1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 評定 3</p> <p>2 自己評価結果を公表しているか 評定 3</p> <p>3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 評定 3</p> <p>4 学校関係者評価結果を公表しているか 評価 1</p> <p>【9-35】 教育情報の公開</p> <p>1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか 評定 3</p>

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（評価項目・特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会貢献については「自律・協調・奉仕」という創立者の言葉に代表されるように、学園の創立以来、地域に根ざした学園、そして医療・福祉を学ぶことにより、人々を健康や幸福に導くことを目標に掲げ、学園全体で取り組んでいる。</p>	<p>【10-36】社会貢献・地域貢献</p> <p>1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 評定 4</p> <p>2 国際交流に取り組んでいるか 評定 2</p> <p>【10-37】ボランティア活動</p> <p>1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか 評定 4</p>